

# 令和6年度尾鷲市男女共同参画審議会 開催結果概要

目 的	令和6年度尾鷲市男女共同参画審議会
-----	-------------------

日 時	令和7年2月7日（金） 16:00～16:50
-----	-------------------------

場 所	尾鷲市役所 3階 第2・3委員会室
-----	-------------------

内 容	<p>○出席者 委員：森脇会長、内山委員、大川委員、中井委員、堀内委員、本澤委員、宮本委員 市：政策調整課 三鬼課長、福本主査、吉澤</p> <p>1 開会</p> <p>2 令和6年度尾鷲市男女共同参画推進状況及び事業報告について (事務局より説明)</p> <p>○質疑 (会長) いかがでしょうか。何かご意見ございませんか。</p> <p>非常に勝手かもしれませんが、私の方からよろしいでしょうか。 私、大学に勤めておりますので、特に高校生の方のダイバーシティ意識というか、それに関しては非常に関心を持っておりますので、このような高校の男女共同参画セミナーというのは大変意義深いなというふうに思っております。 特に理系学部における女性の進学率の向上というのが目下大学では非常に重要なことだと考えておりますので、ぜひアンコンシャスバイアス、女性は理系に向いてないといったようなイメージというのを払拭していただけるような、このような試みというのはぜひ今後とも続けていただきたいなというふうに心から思っております。 すみません。司会者があまり意見を言っははいけないんですけど。</p> <p>他、ございませんか。</p> <p>(委員) 来年度の計画についてっていうのをこの後何かお話があったりするのでしょうか。この後、わかりました。それじゃ、ごめんなさい後にします。 この場で、今のタイミングでいいのかわからないんですけど、私、去年の会議の時にいくつかご提案というか質問をさせていただいて、例えば、避難所のマニュアルの事についてお伺いしていて、避難所、例えばリーダーに女性を必ず立ててほしいだとか、備品について、例えば防災危機管理課って今も女性のご担当者っていらっしやらない状態ですかね。去年は0って伺ったんですね。</p> <p>(事務局) 確かに委員に承った意見はきちっと防災危機管理課に返して。</p>
-----	---

1つだけ進んでないと言え、防災危機管理課の女性の職員は未だ不在なのですが、基本的にはそれも含めて担当の方から地域防災計画も含めた避難所マニュアルについて、女性の位置づけを記載とか明記してございますので、それをちょっと紹介させていただきます。

(事務局)

避難所運営マニュアルの女性に関する部分の記載ということで、避難所運営マニュアル、こちらに防災からお借りしてきたものがあるんですけど、いくつか女性に配慮している記述がございまして、まず最初に、避難所運営委員会を設置する際に、円滑な避難所運営のために、避難所運営委員会には女性や障がい者を必ず入れるようにという記述を現在しております。

それから、やはりプライバシーの配慮に力を入れるようにということで、女性への配慮ということで、避難所生活で男女別の更衣室であったりとか、授乳室を設けて間仕切りによるプライバシーの確保や、必要物資の支給に対して女性に配慮した運用をしましょうということと、あともう一つありまして、避難所で、避難してきた方への配給とか配膳に関してなんですけれど、女性用の下着であるとかそういうものは、女性が担当して配布するようにしましょうと、というようなことをこのマニュアルの中に記述してございます。

(委員)

資料に対しての話をしてもいいですか。

これ、令和6年度の4月現在なんですけど、これを比較するもの、10年前はどうだったとか、どれだけ進歩しているのかといった資料も横に付けてもらった方がわかりやすいかと思ひまして。

(事務局)

確かに、現状は依然として0%の項目もございまして、進んでいる項目もございまして、一度持ち帰って、資料を可能な範囲で、例えば10年前、5年前どういう状況だったのかは資料を作成することは可能ですので、また後ほど作成でき次第送付をさせていただくことで、今後の私達の気付きにもさせて頂きたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

(委員)

この会議でいいかどうかわかりませんが、今の尾鷲市に消防団という組織がありますね。その中に女性消防団員という位置づけがあって、地域の防災活動に取り組んでおられるんですけども、この女性参画の中に尾鷲市の消防団組織を男女共同参画ということに関しては繰り返されているのかどうかという質問なんですけれど。それと、各地域の分団、私、須賀利の消防分団長をしているんですけど、その中に女性消防団員が2名加わってもらって、女性の目線で活動に寄与できるってことで2名採用したんですけど、その辺についてこの中にいれるのかどうかということだけ確認したいんですが、以上です。

(事務局)

尾鷲市防災会議には確かにそういう方達も名を連ねておりますので、今委員のご質問にありました女性消防団は実際、尾鷲市で組織されておまして、通常の自主防災組織の他に尾鷲消防団というのが各地区ございます。

それと並びに女性消防団も組織されておりますので、現在20名ほど女性消防団員おられて、5年前ですと15名ほどでしたので、徐々に増えつつあるという現状がございまして。ですけど、もっとお聞きしますと、増やして欲しい、増やしていかねばならないというお声も聞いていますので、その辺は防災危機管理課と連携して啓発に努めていきたいと思ひますし、そういうことも含めて、私達が今基づく状況の把握にはこれはもう入れて整理はしていきたいと思ひますので、含まれているとお考えいただいて結構でございます。

(委員)

この資料1の中に含まれるような取り組みじゃないということですね。尾鷲市男女共同参画推進ということになっておりますけれど、消防団組織はこの尾鷲市の男女共同参画推進の中に組み込まれていないという理解でいいんですね。そこを。

(事務局)

資料4にお示ししている、例えばきちっと明記されている名称というか、3ページ目に尾鷲市防災会議ということがございます。そこでは区長もご存じのように、各そこに名を連ねる方がございますので、その辺のところに、尾鷲市消防団の団長という所はあるのですが、女性消防団の明記は今のところここにはございませんので、それは私達も追加はしていくべきと考えておりますので、その辺はまた防災危機管理課とこの構成についても相談をしていきたいと思っております。

### 3. その他

(会長)

それでは、次の議題のその他の方に移らせていただきます。  
その他の件で皆様から何かご意見等ございましたら。

(委員)

お願いしたいんですけど、僕も審議会を作る前に、その前の審議会の基になったものなんです、土川先生という方がおまして、それがこの尾鷲の審議会の基を作った人なんです。これの1回目の会長は重松さんかな。重松さんの前にこの会を作ったのが土川先生って言って、フレンテみえを立ち上げた人で、尾鷲と鈴鹿と津の会長をやっていた人なんです、ここみんな忘れてる人ばかりで、全然顔も知らない人かな。その方が平成30年に内閣総理大臣賞をもらって、自分達も会いに行ったくらいなんですけど、三重県の男女共同参画を立上げた人かな。その人のプロフィールというか、それを皆で忘れないために、もう1度ここで作ってできないかなと思って。尾鷲高校の今やっているセミナーも元々は自分らが昼休みに学校へ行って、そして生徒会と話し合いして、男女共同参画について色々話し合いをしているうちにこれができたかな。

(事務局)

今、委員がおっしゃられた土川さんっていう先駆けの方の現在の事も含めて、過去からの取り組みも含めて、例えばそれをどういうふうに今の方に伝えたり、こういう現場に役立てられるかっていう所は一度検討させてください。

(委員)

この会があるのも土川先生がいて、立ち上げたというか、創業者の一人というか、初代の会長ですので、それ毎年言っているんですけどね。

(事務局)

確かに委員のおっしゃるのは、例えばそういう方の講演会を開くなり、そういうところをもう一度啓発したりしながら勉強会を開いたらどうかというご意見ですか。

(委員)

毎年その人の講演をしてくれて今まで頼んでいたのですが、それも土川先生も年が90近いかなそういうこともあってダメなんかなと、思ったりしているんですけど。

(事務局)

一度必ずコンタクトを取って、どういうことが現状として可能か今回皆様にお諮りして、例えばどういうふうな行動に移していくかは、一度必ず連絡させていただきますので、相談させてください。それも含めてこちらの場で色んなお話をさせていただくように。

(委員)

個人の電話番号なら知っていますので。

(事務局)

わかりました。また一度教えてください。よろしく申し上げます。

(会長)

はい、ありがとうございました。

創世期の方のこと。

そのほかにその他のところでご意見ございますでしょうか。

(委員)

すみません、この会議って年に一回だと思っんですけど、例えば去年投げかけたご提案に対しての返答がどうしても聞くのが一年後になってしまって、私も忘れてたりとか、もしかしたら来年いるかどうかがあるかわからないので、例えば今おっしゃられたこととか、途中で書面でも何でもいいんですけども、中間報告のようなものをもらったりとか、わたし個人的には会議をもっとやってほしいなと思っているんですけど、例えば先ほどの女性消防団の方が防災会議に入れるかどうかみたいな話もそうなんですけれども、何かそういうコミュニケーションをもうちょっと増やしていただけないかというのを思っているんですけども、いかがでしょう。

(事務局)

そうですね、確かに昨年度報告という形で報告して意見いただいて、それが次どのように反映されるかっていうと、なかなか、さきほど委員が言われたように、例えば来年講演会をするとすると、その予算が確保されているかっていうと、なかなかそれに結びつかないという反省点もございますので、まずできることは、今、今日いただいたお声は必ず皆様にきちっと回答は近いうちにさせていただきたいと思えますし、予算も伴うこととか、議論が必要な事は、正直私も回数を増やすことが大事かなと思えますので、そういうことも含めてちょっと内部で検討させていただいて、複数回の開催に向けても議論させていただきたいと思えます。今の時代、メール等も踏まえてお伝えする方法はいくつかございますので、今日頂いたご質問やご意見については、きちっと整理した上で、会長も含めてお話した後に、皆様にはフィードバックさせていただきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

(会長)

はい、それでは事務局の方からよろしくお願ひいたします。

(事務局)

来年度の予定でございますけれども、資料説明の際にも申し上げたんですけれども、三重県男女共同参画連携映画祭2025年のことなんですけど、本市で開催することになっております。県内各地でこの映画祭が開催されておりまして、東紀州地域は5市町共同の持ち回りで開催しているという今状況でございます。より多くの方に来場いただけるように日程とか、上映作品を選べればと思っておりますが、開催日につきましては、男女共同参画週間である6月23日から6月29日を基本に、その前後の土曜か日曜でと考えております。

男女共同参画連携映画祭の反省会で、各地で行われるのでなるべく日程を被らないような、近隣市町で被らないようなタイミングで開催してほしいという意見がございましたので、この連携の5市町を除いて、多気町さんとかあの辺と被らない日程で開催できればなどは思っております。

また、その反省点の中で上映作品で、邦画であっても字幕付きが見やすかったとの感想が多かったので、字幕付き、邦画であっても字幕付きのバリアフリー上映で比較的公開年度が新しい方が皆様に興味を持っていただけるのかなということで、そのような映画を選定していきたいと思っております。

詳細決まりましたら、またホームページや広報等で報告させていただきますので委員の皆さまにもご都合がよろしければぜひご来場いただければと思っております。よろしくお願ひいたします。以上です。

(委員)

尾鷲市としてやるのは映画祭のみということで。

(事務局)

予算化されているのは、それ以外は啓発活動、広報や色んな媒体を使った意識啓発が、これらは特に費用がかからないものですから、広報おわせに毎月掲載したり、ホームページや、です。先ほどの講演会を例えば開催するとか、尾鷲高校の先ほどのジェンダーの学びも含めてですけど、色んなものはこういう場でお声をいただいて予算化に努めていきたいと思えますので、特に今日もし何かご希望とか、今後の方向性でご提案があったらいただきたいと思えます。

(委員)

具体的にはないんですけど、男女共同参画とかジェンダー平等って今すごく人口減少でどこの自治体も悩んでいると思うんですけども地方は。割と最近地方から女性がどんどんいなくなっているというか、特に若年層の。それって結構男女の不平等というか、構造的な問題ではあるんですけども、そこってすごく個人的な実感としても関わってるんじゃないかなと思っているんで、この取り組みってすごく大事な事だと思っているんですね。

なので、できればもうちょっと予算をつけていただいて、色んな啓発活動ですとか、映画の上映会とか講演会とか、回数を増やしていただけないかなっていうのが一つと、後は例えばですけど、民間で何か男女共同参画に関わるような何かをしたいとなった時に、予算的な補助とかは難しいかもしれないんですけど、例えば広報のご相談はできたりとかそういうことができるのかどうかちょっとお伺いできればなと思って。

(事務局)

後半に述べられました民間が行うイベントについてよくあるのが、例えば尾鷲市教育委員会が後援という形で、イベントの趣旨に協賛して後援しますっていうところポスターとかに掲載することがよくあります。そういうことを経る方が、私どもがそれを PR する。例えばホームページに載せたり、尾鷲市の媒体でする時の進みやすくなる一つの根拠でございますので、今おっしゃられた民間のイベントでこの男女共同参画の趣旨に合うということは、この協議会でも共有されることだと思いますので、そういう方法で支援することは可能だと思いますので、ご相談いただければその都度検討はさせていただきますので、よろしくお願ひします。

(委員)

過去に PTA の代表をしている時に、PTA 大会でこの男女共同参画をアピールするためにディスカッションをやったり、そして協賛という形で講演を依頼してもらって一緒に男女共同参画を見てもらったりする。それと、古道まつりやった時に啓発活動だったとか、そういうことで今まではやってきましたね。今度自分達が今やっている青少年の啓発活動をする時に年一回やるんですけど、その時にパンフレットや何かを入れ込むって大丈夫ですか。

(事務局)

中身は広報紙に紙面としてお知らせ欄に掲載したりすることも関連事業としてございますので、その辺はメール等も含めて随時お気付きのイベントでこういうものがあるのでぜひ応援したいなという案があれば、いただければまた皆様に共有した上で、市として対応させていただきますので、お願ひいたします。

(委員)

すみません、ちょっと会長にお伺いしたいんですけども、三重大学は男女共同参画っていう名前からダイバーシティインクルージョンというふうに変えたっていうのはこれはもう男女共同参画の枠だけでは足りないという考えでってことなんですかね。

(会長)

そうですね。学内は多様な方がいらっしゃいますので、国籍であるとか宗教であるとかといったような留学生も非常に多いです、そういうことでダイバーシティインクルージョン推進という名前に変えたんですけども、一方で男女共同参画は今もって重要な課題だと考えております。ダイバーシティインクルージョンの中のいわば一丁目一番地であるというふうに変えて。私はダイバーシティインクルージョン推進室という所の室長をしているんですけど、そういうふうに変えておりますので、名前を変えるというのは弊害もあって、男女共同参画はもう終わったんだというふうに、要するにジェンダー平等はもうその中の一つというふうにする向きもあるんですけども、現在の日本の状況とか、あるいは先日県の男女共同参画、ダイバーシティでしたかね、の方の推進の審議会の方に出了ところ、そちらの所ではやはり三重県はジェンダー指数というのが全国の中でもかなり下位の方に位置づけられるというふうな民間団体の出したものでございますけれども、大体三重県っていうのは色んなもので中位くらいが経済力でも何でも色々産業でも多いんですけども、ジェンダー平等、ジェンダー指数に関しては40番台ということで、かなり下位にあるということで、先ほど委員がおっしゃったように若い女性の人口流出というのは県でも非常に問題にされていて、女性に選ばれる三重県ということをお

っしゃっていましたので、やはりそれは重要な取り組むべき大きな事柄だと思っております。

(委員)

なので、尾鷲市もこれ名前を変えた方がいいんだろうかって一瞬言いかけたんですけど、確かに弊害もあるといえばあるのかなっていうふうに思ったのと、後は三鷹市かな東京の三鷹市だと男女共同参画じゃなくて男女平等参画っていうふうに言っていて、確かにこの共同っていうのは平等って言いたくないための逃げだっている方もいるくらいなので、名前の変更もちょっと提案だけしようかなと思って発言しました。

(会長)

結構名前に関して何と言うかっていうことに関しては、一長一短の部分があるかと思えます。男女共同参画については男女共同参画基本法というのに基づいてということになりますので、一応日本の政府で言っているのはその男女共同参画基本法というものなんだと思えます。行政的には。だと思うんですけど、色んな団体で今大学等だとダイバーシティ、それかインクルージョンというのは中に含めるという意味ですけど、後さらにエクイティを入れたりとかですね。そういう更にもう一つつけたりとかっていうふうになってますけれども、言葉は難しいですね。要するに、すごくコロコロ変えるとまた通りが悪くなってしまいますからその辺は一長一短の部分があるかと思えますけれども、共同参画っていう言葉の共同っていうのがどういう経緯で取り入れられたかっていう事は、良い面と悪い面と実は両方あったというふうに聞いてはおりますけれども、積極的な面では両方が社会に参画するという事で、単なる平等ではないっていうふうにおっしゃる向きもいらっしゃいますので、これはまた協議していただければと思います。

その他、委員さんいかがでしょうか。今日もう最後のその他のところに入ってしまったんですけども、何か自由なご意見でこのところは結構でございますので、何かご意見等ございましたら尾鷲市の男女共同参画につきましてご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

(委員)

遅くなってすみません。

この間も尾鷲高校の方で授業を見させてもらって、若者の方がやはり平等とかそういうのは、もう意識しないようになってるかなと思うんですけど、やはり年配の方が、まだちょっと差別じゃないですけど、そういうのが未だに感じるんで、やはり若者からもうちょっと発信していけるような感じで、年配の方もそういうのを打ち解けてもらったらいかなと思います。

(会長)

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

はい、他にはもうございませんでしょうか。

最後になってしまいますので、いかがでしょうか。

まだ発言されていらっしゃらない方もよろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、本日の令和6年度尾鷲市男女共同参画審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。お疲れ様でした。

(事務局)

皆さんありがとうございました。

以上